

公明*こうち

市議会ニュース

発行所/高知市議会公明党
住所/〒780-0870
高知市本町5丁目1番45号
TEL: 088-823-9403
FAX: 088-871-2485

2008年(平成20年)2月1日 第3号

高知市議会  NEW KOMIITO 公明党

第405回

高知市議会
定例会

岡崎市政二期目への出発にあたり
公明議員・代表質問と個人質問で3氏が熱弁を振るう!



よしだ てつお 議員
吉田 哲男 議員

代表質問に立った吉田哲男議員は、財政の健全化、寄付条例の制定、文化芸術の振興、防災対策、がん対策、歩行喫煙防止、観光振興、企業の農業参入、グロリアの残渣処理費の軽減、池地区の乱開発、投票率の向上策等々、要望と提案を含め、市長並びに執行部の政治姿勢を質しました。

先ずルソーの文庫の中から「財政は血液、経済は心臓」と言う例えを引用し岡崎市長に高知市経済の活性化の取り組みを求めました。

市長は企業誘致や地場産業の育成等を進め、地域経済の浮揚を図る決意を答弁致しました。

また、財源確保と住民の政策参加を目的に最近、全国的に実施が広がっている寄付条例については市長も導入に向けて前向きな検討を示しました。更に公明党の実績である文化芸術振興法の施行を受けて条例制定を求め、これまでの経過を踏まえ成立を求めた事に対し、岡崎市長は「民音」の本市での公演を評価し「国家・民族・言語等の文化の相違を越えてグローバルな音楽文化の交流で各国間における相互理解と友情を深めている」と敬意を表し、仮称「文化芸術振興条例」の制定を検討する意志を示しました。

次に南海地震の対応として、現在の「課」体制から「室」組織に格上げし、安心安全の備えを図る要望についても市長も早急に対応すべき課題である認識を表明しました。

その他、緊急地震速報についてはデジタル化の運用に合わせ整備。池地区の開発については排水の受け皿である河川管理者である県に対し調査を求めていることなどが表明されました。



たかはし まさし 議員
高橋 正志 議員

高橋正志議員は、岡崎市政二期目へのスタートにあたりトップバッターで個人質問を行いました。

「学校図書館図書整備費について」

平成十九年度から五年間で購入費計約二千億円を交付する文部科学省の財政措置の状況を質問。吉川教育長は、十九年度の交付実績として小学校約二千六百万円、中学校約二千八百万円と報告。一方で国が示す「学校図書館図書標準」を達成している学校は、小中学校ともに二割に満たない状況を説明し「学校図書購入費の増額の確保、図書標準の達成」に前向きに取り組みとの答弁がありました。

「旭駅周辺地区まちづくりについて」

高知駅周辺地区、弥右衛門地区の整備の終息を受け、平成二十二年度からスタートする旭駅周辺地区のまちづくりについて質問をしました。まちづくりの際に地域住民のニーズを反映した計画づくりを要望。都市整備部小松副部長は、「地域と行政が整備目標を共有化することが特に重要である」と答弁しました。二十年度からは地元説明会やワークショップなどを通じて課題、整備手法などを住民と話し合う考えを示しました。

「若年者雇用について」

都市圏の景気回復に伴い若者の「県外就職志向」が年々強まっている事に対し、このまま行けば本市の活力低下にさらに拍車がかかってしまうと発言しました。また、若者からの意見をもっと市政に反映してほしいとの声を岡崎市長に要望しました。岡崎市長は、この問題を非常に切実に受け止めており、第二期目に引き続き更に若者との意見交換会等を行い市政に反映できるように前向きに検討して行く考えを示しました。



てらうち のりよし 議員
寺内 憲資 議員

寺内のりよし議員は、岡崎市長の政治姿勢につき、市長が進める行政改革における政策評価、施策評価、事業評価の手法と評価結果の市民への提供方法を質しました。

また、市民に対する行政の説明責任の徹底及び市民本位の効率的で質の高い行政サービス実現のために行政改革を先行して推進している他市の行政評価導入状況を紹介しながら、本市への行政評価システムの早期導入を求めました。

岡崎市長は、平成21年度導入に向けて取り組み考えを示しました。

(平成18年10月1日現在における地方自治体の行政評価導入状況)

都道府県 100%
政令指定都市 96%
高知市を含めた中核市 89%

次に、国においては人事評価システムを導入、職員の実績を評価し、仕事を一生懸命した人には給与面、ボーナス面、人事異動面でも配慮し、さらに年功的な昇進は行わず、能力主義的な昇進管理を行っていることをあげ、高知市においても昇進管理方法と人事評価を給与面、人事配置面等へ反映させていくべきではないかと質しました。

また、試行的に導入しようとしている新人事考課の被評価者(評価された本人)への開示の有無を質し、本人への開示を求めました。

専門分野である高知新港問題については、荷役の安全性確保と利用促進のため、沖防波堤の早期完成の必要性を促し、岡崎市長は、早期整備に向け県とともに国に強く要望していくとの前向きな答弁を致しました。

公明党市議団、市民とともに

全国いきいき百歳大交流大会に参加

11月21日

高知市から全国に広がった「いきいき百歳体操」の第一回全国大会が、昨年11月21日に県民体育館で開催され、介護予防の観点から「いきいき百歳体操」の普及を推進してきた公明党の市議団も、約800名の参加者の皆さんといっしょに百歳体操を実践しました。



この「いきいき百歳体操」は2002年に高知市が考案したもので、現在、市内はもとより県内・全国にまで広がっています。初の全国大会では、この百歳体操を続けた結果として杖なしで歩くことができるようになった実例など、たくさんの喜びの声が寄せられました。

私達公明党市議団は今後も、高齢者の皆様に元気で長生きをしていただくための介護予防への取り組みをさらに推進してまいります。



青年局ジョブカフェこうちを視察

12月27日

青年局の活動の一つである「若年者雇用対策の推進」において、県内のニート・フリーター対策の一環として設立された若者のための高知県就職支援相談センター「ジョブカフェこうち」を12月27日に訪問しました。これには、青年局長 寺内憲資議員、青年局次長 松浦隆起議員、高橋正志議員、西森美和議員が参加し、桑原所長から県内における若者の就職・雇用の現状の説明を受け、質疑応答を活発に行いました。



お知らせ

ジョブカフェこうちは、若者のための高知県就職支援相談センターです。若者を取り巻く就職環境は大変厳しい状況が続いています。そんな中、「ジョブカフェこうち」では、就職に関する情報提供や、様々な相談・アドバイス・サポートを行っています。

支援内容

- ① 就職活動全般についての相談
(就職のためのコンサル、キャリアアップ、仕事に対する悩みの相談)
- ② 高校等への出張相談
(高校等で学校の希望に応じ、職業適性検査、面接模擬等を行なう)
- ③ 各種セミナーの開催
(各業界から講師を招き、講話及びフリートーク等を実施)
- ④ 職場体験講習
(企業で実際の仕事を体験し、企業との相互理解を深め早期就職を支援)



ハローワーク高知 若者相談コーナーOPEN

デンテツターミナルビル3階の「ハローワーク高知・高知学生職業相談室」が、「ジョブカフェこうち」に移転・併設されました。おおむね35歳未満の若年者及び卒業予定の学生の皆さんのための施設です。
「ジョブカフェこうち3階・TEL 088-802-2076」

ジョブカフェこうち

〒780-0841
高知市帯屋町2丁目1-35 片岡ビル
TEL 088-802-2025
FAX 088-823-7005
年中無休/土日祝も開いています
設置主体/高知県
運営/高知県経営者協会
URL: <http://jobcafe-kochi.jp>
E-mail: info@jobcafe-kochi.jp



編集 後期



高知市内の某介護施設が行う昔懐かしい杵と臼による餅つき大会に参加し、餅つきの達人から餅つきの手法を学びました。

餅つきの達人、それは施設利用者のお年寄りの皆さんです。

薪をくべる若者にセイロの蒸し具合を伝授するお年寄り。力任せに餅をつく若者を見守る達人たちの優しさの中に光る厳しい目。

突然車椅子に乗った一人のお年寄りが立ち上がり、熟練の餅つきを披露。

「昔とった杵柄」とは正にこのことだと心から感動しました。

感謝・感謝。

人生の大先輩に感謝です。

(海猿)